礼拝プログラム

2018年3月4日

司会:大野兄 奏楽:大倉姉 通訳:ジャンカー姉

前奏: Prelude

賛美: Hymn

使徒信条: * Apostle's Creed

アナウンスメント: Announcement

牧会祈祷: Pastoral Prayer

感謝献金: Offering

メッセージ: Sermon

「神に喜ばれ、自分も喜ぶ」

Please God, and joy will be added unto you.

賛美: Hymn

頌栄: Doxology

祝祷: * Benediction

アッシャー: 町田姉、スカーレット姉

グリーター: アーリー姉、石井姉

ナーサリー: 大倉姉、パーク姉

チルドレンチャーチ: 川久姉、奏姉

セキュリティ: 大野兄

*印箇所は起立ですが、起立が困難な方は着席のままです。礼拝メッセージは英語に訳されます。必要な機器を会堂入口にてお求めください。

Please feel free to remain seated or sit down when the congregation is asked to stand. The sermon will be translated from Japanese to English. You can pick up a translator device at the entrance of sanctuary.

来週、11日の礼拝

司会: 本多兄 奏楽: 西井姉 通訳: スカーレット姉

メッセージ: 「神のあわれみによる勧め」

賛美: 私達のこの口は 新聖歌233

アッシャー: 川久姉、町田姉

グリーター: アーリー姉、石井姉

ナーサリー: マイヤー姉、カーター姉

チルドレンチャーチ: 大野姉、桜子姉

セキュリティ: 西井兄

おしらせ

本日の礼拝後の予定

コーヒー、バイブルスタディー、カレーランチ、
大人・子供フラ練習、日英合同執事会

■本日の礼拝ようこそいらっしゃいました。教会について、集会、信仰、キリスト教等について、ご質問がある方はお気軽に牧師までおたずねください。

■今日からケイキ(子供:5歳-14歳対象)のフラレッスンを3月4日、11日、そして18日の午後12時より12時半まで、2階のクラスルームで行い、大人同様にイースターピクニックの時にダンスを踊ります。お問い合わせはスコット恵子姉まで。

■来週日曜日から夏時間となります。時間調節をお忘れなく。忘れずと礼拝をミスします!

■今年の教会大掃除は3月24日(土)、午前8時からもたれます。主の宮を皆できれいに掃除し、受難週、イースターに備えましょう。

■3月30日(金)、午後7時よりグッドフライデー礼拝のために以下のイエス様の十字架上の言葉をシェアする時をもちます。●『婦人よ、ごらんなさい。これはあなたの子です』。『ごらんなさい。これはあなたの母です』(ヨハネ19:26-27)。●『わたしはかわく』(ヨハネ19:28)●『父よ、わたしの霊をみ手にゆだねます』(ルカ23:46)。示される言葉がありましたら牧師までお申し出ください。

■4月1日のイースター礼拝にて洗礼式、入会式を予定しています。もし洗礼、入会を考えていらっしゃる方はお気軽に牧師、執事までお申し出ください。

■アパ・ルーム(デボーション)の新規購読並びに更新ご希望の方は、3月11日までに一年分の購読料\$25を添えて、コラネリ姉まで申し込んでください。

今週の予定

7日(水)	水曜集会	7:30pm-
8日(木)	木曜集会	10:30am-
9日(金)	ななみ会	10:00am-
	恵み会	10:30am-
10日(土)	白百合会	10:30am-
11日(日)	理事会	

スコット恵子

『彼は叫ぶことなく、声をあげることなくその声をちまたに聞えさせず、また傷ついた葦を折ることなく、ほのぐらい灯心を消すことなく、真実をもって道をしめす』(イザヤ42章2節-3節)。

『相手の身になって、と簡単に言いますが、そのつもりでしたことが、相手の重荷になっている場合も少なくなく、難しいものがあります。むしろ、自分を控えることが持つ意味を、大切にしたいと思えます。自分を控えるとは、無関心のことではありません。相手の姿の中に、自分と同じ弱さを見て、物が言えないということでもあります。この共感、この沈黙、それが人間関係に節度を与えることでありましょう。そして、人と人を結びつけるのは、あれこれをなすよりは、この節度である場合が、かえって多いものであります』(藤木正三著「灰色の断層」ヨルダン社)

仕事柄でしょうか、問題を打ち明けられますと、すぐに自分なりの解決法について話し出していることがあります。しかし、その時に相手は解決方法を期待しているのではなく、話をよく聞いて、共感してほしいのだということを忘れないようにしたいと願います。

共感とは相手の姿の中に自分と同じ弱さを見出すということ。そして、多くを語らずとも「沈黙」という言語が「共感」と共にある時に、多くの慰めと勇気をもたらしてくれるということを知る者でありたいと祈ります。